



# JR四国労組新聞

## JRSU

2024年  
4月15日  
No.10 (538)

四国旅客鉄道労働組合  
〒760-0021 高松市西の丸町11-9  
TEL (NTT) 087-851-1378  
(JR) 086-2597-2598  
http://jrshikoku.or.jp  
発行責任者/大谷 清  
編集責任者/和田 庄平

# 2024 春季生活闘争妥結!!

### JR四国

### ジェイアール四国バス

- ◇ 昨年に続く賃金改善! ペア 3,000円獲得!
- ◇ 若年層の賃金改善! 1.5号俸積み増し!
- ◇ コロナ禍の労苦に報いる! 一時金15万円支給!
- ◇ コロナ禍以来初! 職能給へア 2,500円獲得!
- ◇ 55~59歳年齢給へア 最大5,000円獲得!
- ◇ 乗務員の調整手当新設!

【JR四国】JR四国との春闘交渉は、2月22日に1回目の団体交渉を実施。組合は、「経営環境は厳しいものの黒字決算見込みが発表されるなど、明るい兆しも見えてくる。この成果はコロナ禍においても組合員が会社を信じ、ひたむきに業務に取り組んだ努力の賜物」と主張するとともに、「昨春闘で賃金改善が図られたものの、物価高騰の波に賃金が追いついておらず、可処分所得は実質低下している。今後も社会的使命

を果たすためには、優秀な「人材の確保・定着」が必須。「未来づくり春闘」の意義を理解し、継続的な「人への投資」を行うべき」と要請。また、定期本部委員会で発言等を受け、「3年半に亘るコロナ禍において運休を出さなかった等、組合員の努力を最大限評価すべき」として、一時金の支払いを要求した。

3月4日に行った2回目の団体交渉においても、「コロナ禍が明けた今こそ人財の必要性について会社からのメッセージを」

「継続的な人財への投資」の必要性を強く訴えた。迎えた3月15日の3回目の交渉において、定期本部委員会で発言等を受け、「3年半に亘るコロナ禍において運休を出さなかった等、組合員の努力を最大限評価すべき」として、一時金の支払いを要求した。

### 【JR四国・回答】

- ◆ 定期昇給実施!
- ◆ 昨年に続く賃金改善! ペア3,000円!
- ◆ 初任給及び若年層の基本給  
1号俸~5号俸積み増し!
- ◆ エキスパート組合員の保障給3,000円引き上げ!
- ◆ 準組合員の基本賃金改善(一律)  
・パートナー社員1,600円  
・サポーター社員10円
- ◆ 契約社員(サポーター社員、駅及びワープ支店勤務者等)の基本賃金をSランクに統一!
- ◆ 寮費の見直し(引き下げ)を実施!
- ◆ カムバック制度の創設!
- ◆ コロナ禍の労苦に報いる一時金として  
組合員15万円・準組合員5万円支払い!

### 【ジェイアール四国バス・回答】

- ◆ 定期昇給完全実施!
- ◆ 会社発足以来初の賃金改善! ペア(職能給)2,500円!
- ◆ 55~59歳の組合員の賃金改善! ペア(年齢給)  
1,000円~5,000円引き上げ!
- ◆ 乗務員の調整手当の新設!
- ◆ 再雇用契約社員の賃金改善!  
・月給社員一律2,500円  
・時給社員一律10円
- ◆ 契約社員の賃金改善!

組合は、今春闘においても非常に厳しい交渉を強いられ、離職が続き、組合員の日々の奮闘を強く訴えた結果として、2年連続のベースアップ、若年層の賃金水準改善、一時金の支払い等、複数の項目で賃金改善が実現できたことを評価するとともに、収入は回復基調にあるも、未だ厳しい経営環境に置かれる会の現時点での最大限の回答と判断し妥結した。(詳しくは、JR四国労組ニュースNo.21~23参照)

### ジェイアール四国バス

ジェイアール四国バスとの春闘交渉は、2月22日に1回目の交渉を実施。組合は「一期末決算において、事業計画の目標達成は「射程内」となっているが、これらは少ない人員で各種施策へ理解・協力し、安全・安心輸送の継続に努めた成果であり、組合員の奮闘以外の何ものでもない」と指摘し、「物価高騰の影響は組合員・家族の生活にも及ぶ一方で、会社発足以来ベースアップが実施されず、相対的に賃金水準が下落し続けている。人手不足が社会問題化する中、退職者も相次ぎ定期運行への影響も危惧される今こそ、「人財」たる組合員への強いメッセージを込めた誠意ある回答を求めると強く要請した。3月1日に行った2回目の交渉において会社は「今年度は営業損益ベースで何とか黒字が見込まれる状況にあるが、コロナ禍におけるダメージの蓄積は大きく、今後も含めて安定的な健全経営の継続が課題。賃金の引き上げについても、これらの課題と長期的な賃金水準の向上とのバランスの両方が重要となってくる。行政処分が年度内に2回下されるなど、安全・安心輸送の継続には労使を上げて取り組む必要がある」と、今後の見通しと現状を説明し、組合の要求も踏まえた上で、将来に向けて人財確保について検討を進めるとの考えを示した。

## 中期経営計画2025の達成にむけた正念場の一年 人財の確保・定着を通じ、安全・安定・安心輸送の確立、 持続可能なJR四国グループを創り上げよう!

JR四国労組は昨年7月の大会で決定したスローガン「団結 創造 実践 新たな局面を迎えたコロナ禍を乗り越え『ユニオンビジョン2023』の前進を図りさらなる組合員・家族の幸せを実現しよう!!」のもと、運動方針の3本柱である『安全・安定・安心輸送の確立』『組織の強化・拡大』『労働条件の改善』を中心に、積極果敢に活動を展開してきました。

2023年度は、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の分類が季節性インフルエンザと同等の5類相当へ引き下げられたことにより、3年以上続いたコロナ禍による危機的経営状況から脱することができた1年といえます。一方、若手・中堅層を中心とした離職拡大が最大の経営課題となっており、労使一丸となり人財確保・定着に全力で取り組まなければ、安全・安定・安心輸送をはじめとする事業運営に支障を来しかねないという、新たな危機を迎えています。2024年度においても「ユニオンビジョン2023・私たちが考える『持続可能なJR四国グループをつくる人財確保』」〜誇りを持ち安心して働けることのできる環境づくりに向けて〜の実現に向け、諸活動を通じて前進させていく考えですが、スピード感を重視し、タイムリー且つ効果的な取り組みが求められていることを意識しながら、とりわけ2023春闘から続く賃金改善を一層積み上げ、働きがいを実感できることが重要だと考えます。

以上の認識のもと、JR四国労組は、JR四国及びジェイアール四国バスの責任組合として雇用と生活を守ることを念頭に、組合員とその家族の幸せ実現に向けて取り組む決意です。そして、そのためにも、JR四国グループ2024年度事業計画の営業収益53.2億円、鉄道運輸収入22.6億円を確保すべく、グループ一体となった営業施策の推進に貢献するとともに、「四国再発見增收キャンペーン」「利用促進キャンペーン」の積極的な参加に向け、全組合員が一丸となって取り組むことを要請します。

2024年4月1日  
四国旅客鉄道労働組合

### 〈JR四国〉

## 新入社員102名が加入! 契約社員車掌17名が社員登用!

### 〈ジェイアール四国バス〉

## 契約社員4名が社員登用!

**入社おめでとうございます!  
JR四国労組は皆さんを歓迎します!  
ともに頑張りましょう!**

JR四国労組は、4月1日に入社した新規採用者への加入行動を実施。JR四国では、新入社員102名が新たに仲間に加わった。また、4月1日には契約社員車掌17名が、ジェイアール四国バスにおいては4名が、それぞれ社員登用され、組合員として新たに活動を共にすることとなった。

今後配属される支部・分会・青年女性会議役員においては、環境の変化に直面する新入組合員の支援について協力を要請する。

JR四国労組の強固な団結力を発揮し、労働組合の強みである横のつながりをもって、未来ある新入組合員の活躍を後押ししよう!

する調整手当の新設など複数項目の改善を実現した。ベアの表現とともに、長きに亘り強く訴え続けてきた課題に対して大きな前進が図られた点を踏まえ、定期便の運休を余儀なくされるほどの要員不足の中で、営業損益ベースで安定的に黒字を計上できる経営を目指す状況下に

おいて、会社として一杯の回答と判断し妥結した。詳しくは、JR四国労組自動車支部ニュースNo.9~12を参照



# 第30回レディースミールディング開催!

女性組合員21名が  
高松に集結!



本部青年女性会議は、2月23日(金)香川県社会福祉総合センター(高松市)にて、「第30回レディースミールディング」を開催し、四国各地から合計21名の女性組合員が参加した。

参加者はアイスブレイクとして、4つのグループに分かれてお互いを紹介しあう「他己紹介」を行った後、四国労働金庫から講師を招き、マネープランセミナーを実施。「これからどれくらいのお金が必要になるか」というテーマのもと、資産運用の考え方や新NISA



久々のお菓子作りに挑戦!

Aについて講義を受けた。その後、コロナ禍では実施できなかった「お菓子作り」を5年ぶりに行い、スコーンやマフィンなどをグループ毎に作成した。お菓子作り経験の有無を問わずグループで協力し、美味しそうなお菓子を完成させることが

できた。最後に、グループディスカッションとして、「私達と働く仲間を増やすためには?」「5年後、10年後のやりたい姿は?」の2つのテーマで意見交換を行った。魅力的な職場作りのために、制度面

についても、女性の視点で意見交換を行う必要性を認識したうえで、自分の仕事に誇りを持って働きたいとの想いを皆で共有した。JR四国労組は、男女平等参画の取り組みを推進し、今後も男女がともに働きやすい職場づくりを目指していく。(詳細は「フラスアルファ No.404」参照)

## 第7回本部執行委員会開催

3月7日(木) 13時30分より、本部1階会議室にて第7回本部執行委員会を開催した。

【経過報告】  
・組織の強化・拡大



zoomによるWEB形式での開催

- ・(第37回定期本部委員会) (経営協議会)
- ・効率化施策(JR四国)(業務)
- ・「本四備讃線運搬台車の列車衝突」について
- ・JR四国との人材確保に向けた意見交換会(団交)
- ・2024春闘
- ・教育
- ・ユニオンスクール
- ・リーダーコース(徳島)
- ・(共闘)
- ・JR連合四国地協第32回定期委員会
- ・春季生活闘争討論集会
- ・中央交通労協
- ・地方代表者会議(真協定期委員会)
- ・春闘討論集会
- ・香川 愛媛 高知 徳島(青女)
- ・冬レク(大運動会)
- ・レディースミールディング

- ・(部会定期委員会)
  - ・事業開発部会、営業部会(JR連合)
  - ・産業政策委員会
  - ・組織財政検討委員会
  - ・JR連合ビジョン推進委員会
  - ・第36回中央委員会
  - ・JRグループ労組連絡会春闘総決起集会
  - ・グループ労組安全デイスカッション
- 【議事】
- ①36協定等の妥結承認について
  - ②営業施策に関する付議について
  - ③ダイヤ改正に関する諸問題の集約について
  - ④JR四国労組第43回定期大会の招集について
  - ⑤2024年度新規採用者の全員加入に向けた取り組みについて
  - ⑥当面するスケジュールについて
  - ⑦その他

## レク・サクルだより

### 高知管理駅分会

#### ソフトボール大会を開催!



高知管理駅分会では1月23日に高知東部総合運動場にてソフトボール大会を開催しました。当日は天候にも恵まれハツラツとしたプレーを繰り広げました。経験者、初心者問わず声を掛け合いながら楽しくプレーができて、組合員の親睦を深めました。今後ともレクリエー

ションを活用し組合員の団結を深め、より良い組織を作れるよう努めます。

高知管理駅分会  
岩佐 大瑚

### 多度津運動区分会

2024金刀比羅宮参拝・分会新春団結旗開き



多度津運動区分会では、年頭の恒例行事である「金刀比羅宮安全祈願」、「多度津運動区分会新春団結旗開き」を1月31日に開催しました。

金比羅宮参拝では天候も心配されましたが、なんと持ち堪え、参加した組合員は互いに声を掛け合いながら階段を上がり、頂上では今年一年の「作業安全」のご祈禱をうけ、分会に結集する全ての組合員の無事故と無病息災を祈願しました。

その後、コロナ禍を経て4年ぶりの開催となった新春団結旗開きでは中川分会長の挨拶・決意表明で始まり、順次来賓の方々のご挨拶を頂いた後、懇親会へと移りました。32名の参加者は、料理とお酒を堪能しながら、お互いに親睦を深め、分会組織の団結力を高めることが出来ました。

と活性化に向けた行事・サークル活動に区員一人丸となって、積極的に取り組んでいきます。

多度津運動区分会  
山本 剛

### 本社支部

支部主催レクに45名参加!



2月21日(水)に本社支部主催のボウリング大会を開催しました。コロナ禍でレクリエーションの規模を縮小していましたが、今年は従来の規模に戻し、14チーム56名での開催を予定していましたが、異常時対応等と重なり45名の参加にとどまりました。景品も用意していたため白熱し、また個人賞争いも大いに盛り上がりました。

レインの編制を普段交流の少ない分会同士並べる構成としたため、横のつながりを新たに作る事ができました。コロナ禍により、他分会の組合員とコミュニケーションを取れる機会が限られていたため、今後も各分会の混合レクを検討していきます。組合員同士の気軽に楽しめるイベントなので今後も継続して開催していきます。

**支部青女対抗ソフトボール大会開催について**

日時 2024年5月17日(金) 13:00集合

場所 香川県青年センター野外活動場 高松市国分寺町国分1009 (国分駅徒歩すぐ)

対象者 各支部12名以内 青年女性組合員

※詳しくは JR四国労組第72号参照 お申込は各支部青女議長まで!!

## 退職者連絡会第18回臨時総会開催

3月21日(木) 14時30分より、本部1階会議室にてJR四国労組退職者連絡会第18回臨時総会が開催され、清水会長を含む役員及び委員総勢15名が出席した。

本総会は、重松委員(愛媛支部)を議長に選出した後、事務局から経過報告並びに「退職者連絡会規約」の改訂、職者連絡会規約の改訂、能登半島地震に対する「緊急カンパ」等の提起を受けた。

今後退職者連絡会がより機動的な運営が可能となるような体制を構築するとともに、退職者連絡会への加入要件の整理を行うことを念頭に置いており、出席委員からは規約の改訂に関する考え方を補強する意見が出ることも、今後の退職者連絡会運営のための意見が活発に交わされた。



退職者連絡会規約改正等について議論

**JR四国労組第43回定期大会の開催について(告示)**

四国旅客鉄道労働組規約第18条及び第19条に基づき、第43回定期大会を下記のとおり招集します。

記

- 1 日時 2024年7月5日(金) 10:30-17:00
- 2 場所 JRホテルクレメント高松
- 3 議題
  - (1) 2024年度運動方針(案)
  - (2) 2024年度財政方針(案)
  - (3) その他

2024年3月7日 四国旅客鉄道労働組合

少ない掛金で安心のサポート

## JR私傷病共済

JR私傷病共済は、全国のJR連合組合員が会員となって運営されている互助制度です。会員が私傷病で欠勤し、賃金が減額された際、減収分を補い、家族の生活をサポートします。

2022年度(2022.8~2023.7)は、393名の加入者に対し、21,623,000円の傷病見舞金を支給しました。

組合員の安心とJR私傷病共済の健全で安定した運営に向けて、新規加入及び増口(1口→2口)の取り組みをよろしくお願ひします。

掛金は

[1口:年間掛金 4,000円]  
[2口:年間掛金 8,000円]

から選択できます。詳細は各支部まで。